

2021 年度 40 周年実行委員会 事業報告

担当副理事長兼 実行委員長	高橋 征宏	副実行委員長	荒川 洋介
副実行委員長	永須 巧	副実行委員長	細川拓也
委員	全 会 員		

1 年を終えて

本委員会の最大の役目は「一般社団法人横手青年会議所創立 40 周年記念式典並びに祝賀会」の成功でした。当初 5 月に計画したものの新型コロナウイルス感染拡大が懸念される社会情勢のため、延期にせざるを得ませんでした。延期の判断は自分たちのみで決定したものではなく先輩諸兄や官公庁に問い合わせ、社会情勢を慎重に鑑み、決定したものです。5 月から 9 月に延期をし、実現に向け活動しておりましたが、上記同様の理由で更なる延期を余儀なくされました。最終的に 11 月に実施ができ、その 2 日後には政府が行動制限緩和を発表するなど時期に恵まれた開催でした。

150 人規模の式典並びに祝賀会は、新型コロナウイルス感染拡大から振り返ると横手青年会議所で開催した事業の中でも最大規模のものでした。

年初計画した委員会の基本方針・目標の「創立 40 周年という大きな節目の記念式典と未来につなげる記念事業を全会員一丸となって時代の変化に則し実施します。」については様々な変更があった中でしたが、達成できたといえます。

■2 月例会「40 周年へ向けての決起会」

横手青年会議所の歴史を 3 つの委員会（総務委員会、記念式典委員会、記念事業委員会）に分け、調査し発表していただくことで 40 周年への気持ちを一つにすることを目的に実施いたしました。会室に残されている過去の写真や資料、先輩諸兄への聞き取り調査を実施してパワーポイントでの発表をしました。

事業後、発表の内容は YouTube にアップロードしております。先輩諸兄にも動画のご案内を FAX にて実施したところ、数名の方から「当時は懐かしい」といった声が寄せられました。

どうして横手青年会議所は創立しなければならなかったのかを考えるきっかけともなった例会でした。

■5 月「未来へつなげ！YOKOTE グルメ創造キックオフミーティング」

当初計画した式典・祝賀会を 9 月に延期するため、担当であった 5 月に急遽、新しい横手グルメを創造する事業を開催しました。食育アドバイザーとして広く活躍されている米澤智美様、横手市役所の菅原徳子様、市内の高校生に呼び掛け、会員とアイデアを出し合う例会でした。

高校生の柔軟な発想、米澤様と菅原様の経験から裏打ちされたアドバイスを受けながら、グループディスカッションを実施しました。グループディスカッション後の発表では思わず笑顔

がこぼれるような料理アイデアもあり、会場は和やかながら新しい創造が始まる機運に包まれました。

■5月～12月「YOKOTE グルメ創造」

5月例会で出した料理アイデアを米澤様に実際に制作していただき、試食会を実施しました。その中でも豚の燻製味噌漬けがアンケート結果で高い評価を得ました。試食会后、商品化へ向け、株式会社田園様に制作の依頼をしました。

製作に必要な味噌、リンゴ、豚肉の選定にも時間を費やしました。制作されたものは、執行部で試食を2度繰り返し、販売に必要な検査を受けました。その合間を縫ってイオン東北様への営業、各販売業者への営業を実施しました。

また、40周年記念式典時には商品化には至っておりませんでしたが、来賓の方々に試食をしていただき、細川副実行委員長のプレゼンと共に商品は高い評価を得ました。

■11月「一般社団法人横手青年会議所創立40周年記念式典並びに記念祝賀会」40周年記念式典・祝賀会

式典祝賀会について

新型コロナウイルス感染拡大対策として県内のご来賓に限りご案内をしました。終了後2週間経過しても感染者の報告はなく、150名が参会しましたが無事に終えることができました。

式典祝賀会の開催を同会場にしたことでご来賓の混乱を避けることができました。

入会歴の浅い会員も経験者も準備当初から個性を發揮し、それぞれが役割を持ち、一丸となって開催できました。

式典について

事業後は多方面からありがたい言葉を頂戴しました。しかしながら見直すべき点が多く残りました。例に挙げると来賓の方々の読み上げ順です。公的な影響力の大きい団体を先にお呼びするのが通例だそうです。また、代理出席されている方のお名前を直接お呼びするのは、間違いではないようですが、一般的なマナーですとお声をかけた方のお名前を呼ぶそうです。

記念WEBサイトを作成し、本という形態をとらず来賓に配信できました。記念誌の手渡しによる新型コロナウイルス感染拡大対策として有効であったと共に、次代に残せる動画などが掲載できました。

式典の役割分担が直前でも変更があり、動画の撮影を失念してしまいました。直前で変更があったことは想定不足が起こってしまったことです。

祝賀会について

式典が予定よりも早く終了したため、来賓をお待たせしてはいけないという思いから30分開会を早めました。結果として遅れた方は1名でした。直前の変更前に祝賀会からお呼びする来賓の方々に事前確認を徹底するべきでした。

■40周年記念事業 11月例会「未来をつなごう。世界との『WA!!』」

インドネシアと横手の中高生の国際交流事業でした。事業当日、運動部の大会が予定されていたこともあり、参加者募集に難儀をしました。結果として12名の中高生にご参集いただき事業を開催できました。

交流先にインドネシアを選定した理由は、日本とインドネシアの友好関係並びに横手市とインドネシアの友好関係を基にしたものでした。参加が集まりにくかった要因の一つとして参加対象の中高生のニーズ分析が不十分でした。参加対象者のニーズを細かく分析する必要がありました。但し、参加者からは大変好評でした。

ZOOMにて海外と交流を進めましたが、実施してみなければわからなかった点が多々ありました。通訳の重要性や会員の参加する姿勢などがあげられます。

今後もインドネシアと友好関係を継続するため、どのような手法が有効なのか検討する必要があります。

■今後の周年に向けて

本年度は創立35周年の資料を参考に資料作成を進めました。当時と情勢が違うことはもちろんですが、過去の資料には記載されていない事項が多く、想像を膨らませながら実行してまいりました。会員数が今後も減少傾向にあると考えられます。会員数の減少は一人への負担増にもつながります。細かな部分まで資料を精査、作成し次の周年へ活かせるようにしました。

事業報告

事業開催日	事業名	開催場所
2月12日	2月例会「40周年へ向けての決起会」	よこてシャイニーパレス 5階 瑞穂の間
5月29日	「未来へつなげ！YOKOTE グルメ創造キックオフミーティング」	よこてシャイニーパレス 5階 瑞穂の間
5月～12月	「YOKOTE グルメ創造」	各所
11月20日	11月 「一般社団法人横手青年会議所創立40周年 記念式典並びに記念祝賀会」	松與会館 記念式典：3階飛天の間 記念祝賀会：2階末広の間
11月27日	40周年記念事業 11月例会「未来をつなごう。世界との『WA!!』」	ベッチモント YOKOTE 2F

会議報告

会議開催日	会議名	開催場所
2020年10月20日	第1回副実行委員長会議	横手青年会議所 会室及び ZOOM
11月16日	第2回副実行委員長会議	横手青年会議所 会室

11月26日	第1回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
12月15日	第2回実行委員会	ZOOM
2021年1月14日	第3回実行委員会	横手商工会議所 会室及びZOOM
1月20日	第4回実行委員会	横手商工会議所 会室及びZOOM
2月26日	第5回実行委員会	横手商工会議所 役員室
3月26日	第3回副実行委員長会議	横手青年会議所 会室
3月11日	第6回実行委員会	横手商工会議所 役員室
3月31日	第7回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
4月12日	第8回実行委員会	横手商工会議所 大会議室及びZOOM
5月12日	第9回実行委員会	横手商工会議所 役員室及びZOOM
6月9日	第10回実行委員会	横手商工会議所 役員室
6月21日	第4回副実行委員長会議	横手商工会議所 会室
6月28日	第11回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
7月15日	第12回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
7月28日	第13回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
8月11日	第14回実行委員会	横手商工会議所 役員室
8月23日	第15回実行委員会	ZOOM
9月8日	第16回実行委員会	ZOOM
10月15日	第17回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
10月27日	第5回副実行委員長会議	横手商工会議所 会室
11月11日	第18回実行委員会	横手商工会議所 役員室
11月30日	第19回実行委員会	横手商工会議所 大会議室
12月14日	第20回実行委員会	横手商工会議所 大会議室